



# やらまいか

クラブテーマ：新たなチャレンジ、さらなるレベルアップ

会長／柴田浩志 幹事／杉浦節子 会報委員会／吉田 悟・浅野 晋 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所  
事務局／豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第10回 通算1541回 2018年9月18日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/28 修正出席率
		68名	40名	62.5%	85.6%

ゲスト：(なし) ビジター：メーキャップ受付23名

## ★会長あいさつ

### 柴田浩志会長



こんにちは。今年の夏は暑い日が続きましたが、最近の朝晩は秋っぽくなって少し過ごしやすくなってき

ました。本日も大変に良い天気です、ここにいるよりも外を歩きたいという天気です。

9月8日に地区審議会が開催されて出席してきました。地区の役員と各クラブの会長が集まって、昨年度の決算についての説明を受けて、承認をするという会でありました。地区の予算は、1億2千万弱で、すごいお金を使っていると思いました。受付でクラブ名が書かれたプレートが渡され、これが投票用紙ですと言われました。決算の説明を受けたあとで、賛成の人はプレートを掲げる様に言われましたが、プレートを掲げるより挙手でも良いのではないかと感じました。

地区の方からのお願いとして、MyRotaryの登録をお願いがありました。アドレスがあり、パソコンを使える人は簡単に登録できますので、ご協力をお願いします。

もう一つのお願いが、分区内の交流を深めましょうという話がありました。3年未満の会員が他のクラブ例会にメーキャップに出掛けた場合、ビジター費を地区から3千円を上限に補てんをして頂けるそうです。若いメンバーは、他のクラブの例会の様子を見る良い

機会だと思いますので、お出掛けを頂きたいと思います。村井ガバナーは、各クラブの細かいところも見られているようです。10月30日がガバナー公式訪問がありますので、その時に色々聞かれますと思います。今年度のガバナー公式訪問は、豊橋ゴールデンRCと一緒にやります。その合同例会も、分区内交流の一つと言う扱いで開催をしますので、ご協力をお願いします。

## ★幹事報告

杉浦節子幹事

例会臨時変更のお知らせ

## ★委員会報告

親睦委員会 (大木委員長)

秋の行楽開催のご案内

小野喜明会員 (豊川文化協会)

定期公演開催のご案内

## ★新入会員スピーチ

梅田喜嗣会員



こんにちは。本日は、私の職場のひまわり農協についてスピーチをさせて頂きます。

昭和54年4月に当時の豊川市農協に入所をしました。平成2年4月に豊川市農協と宝飯郡4町農協が合併して、ひまわり農協が誕生しました。ひまわりという名称は公募により決定しました。

JA ひまわりの概要は、設立が平成2年4月、本店が豊川市諏訪1丁目1番地、組合員数は、平成30年3月現在34,652人で、内訳として正組合員7,816人、准組合員26,836人です。正組合員は農業に従事されている方で、准組合員は一般の方で農協を理解して頂いている方です。

JA ひまわりの管内の農業は色々な農産物があります。1年を通して温暖な気候条件と施設園芸農業が主体となっています。

当クラブの岩瀬靖宏会員が入られているバラ部会が、平成19年に「日本農業賞・集団組織の部」大賞、「農林水産祭・園芸部門」内閣総理大臣賞をそれぞれ受賞しました。市長の方に報告した時の写真です。

昭和49年に日本で初めてスプレーマム栽培を導入したのが豊川です。当クラブの柴田勝会員は、このスプレー部会の所属です。スプレー菊は1940年代にアメリカで盛んになりまして、それに伴って、1974年の昭和49年に豊川市でも栽培を導入しました。

ひまわり農協には、色々な部会があります。菊部会、スプレーマム部会、バラ部会、洋花部会など20以上の部会で構成されています。

JA ひまわりの理念は、存在理念「暮らしをみつめる」、経営理念「組合員の営農と生活に対して最大奉仕を目指す」、行動理念「協同の原点に立ち返り、農業とそこに住む人々のかけ橋になる」ということです。各部署で、定期的に朝礼の時に唱和したり、月に1回の理事会が始まる前にも唱和しています。

JA ひまわりの基本目標は、「農業と職を通じた元気づくり」です。柴田さんが組合長の時には「土づくり・人づくり」が基本だったので、現在は「元気づくり」が基本となっています。3つの元気づくりとして、①未来につなぐ元気な農業づくり ②健康で安心できる元気な暮らしづくり ③協同を創造する元気な人づくり、3つ基本方針があります。

積極的な加入促進で組合員3万人を達成しました。准組合員は、地域農業の応援団です。設立当時の平成2年4月は、准組合員を含めて10,660人で、平成30年3月には34,652人に組合員増加しています。

多様な活動でJAファンづくりをしています。年に1回組合員集会が開かれるので、その集会で色々な声を事業活動に反映させています。合同運営協議会を開催して研修会を開催しています。准組合員を対象とした組合

員講座を開催しています。女性部を中心に各種サークル活動が行われています。よさこいソーラン、手芸クラブ、料理教室、習字、ヨガ、フラダンスなど20ぐらいのサークルがあります。たすけあい活動として、音羽でミニデイなど行われています。女性部活動として、レクリエーション大会、女性部大会、女性組織代表者との意見交換が行われています。年金友の会として、グラウンドゴルフ大会、ボーリング大会、一泊旅行での会員相互の親睦をはかっています。今年は奥飛騨に行っています。先週、私も月曜日から木曜日まで奥飛騨に行っていました。年金友の会の平成2年設立当時は5,178人でしたが、平成30年3月では15,758人に増えています。各支店を拠点にして支店活動をしています。地域の皆様方と農協を盛り上げていこうということで、子どもさんとお米や野菜を使って作って食べています。他には、乳しぼり体験やバター作り体験なども行っています。

次世代との関わりとしての取組みとして、三上町の圃場があるので、サツマイモやジャガイモ、トウモロコシなどの色々な野菜を作っています。そこに親子農園を行い、農業の楽しさを学んでもらっています。学校給食に地元の食材供給して「豊川産〇〇の日」として、各小学校などで野菜のPR説明などを行って、給食にその野菜を使って食べてもらっています。また、少年野球大会、高校女子のソフトボール大会、少年サッカー大会などを主催しています。

地域社会との関わり方の取組みを紹介します。直売所グリーンセンターでの地産地消ということで、新鮮な野菜や花をお安く供給したいということで、豊川、音羽、一宮の3店舗あります。豊川のグリーンセンターは、豊川商工会議所の直ぐ近くですので、毎週の例会が終わりましたら、お立ち寄り頂ければと思います。

豊川グリーンセンターの隣に“わいわいホール”というのがあり、そこで料理教室を開催しています。子どもさんを対象に、地元の野菜を使った料理教室を行っています。

豊川商工会議所と連携して純米吟醸酒「叶」を販売しています。お米は稲荷の里というコシヒカリ系のお米を使って出来ています。また、会議所とフラワープロジェクトをしています。日本一のバラを使って色々な企画をして、地域社会を盛り上げようという取り組み

をしています。

水の涵養「水守森林（みまもり）活動」を行っています。山の伐採などの作業のお手伝いをしています。

豊川市議会との農政懇談会を開催して、豊川の市議会の皆様方と JA ひまわりの幹部との意見交換をして、市会議員の皆様方にも農協のことを知って頂く取り組みをしています。こちらからの要望もお伝えをさせて頂いております。

豊川市民まつり「おいでん祭」へも出展協力をしています。また“おどら舞コンテスト”にも出場をしています。

JA ひまわりの人材育成の取り組みを紹介します。

コミュニティカレッジの開催し、将来有望な若者のための勉強会を開催しています。

ひまわり農協全体と広報誌は毎月発行しています、それとは別に、支店ごとに支店広報誌を作って、支店の組合員の皆さんにお配りをしています。

役職員大会を年1回開催しています。役員の方、職員など全員出席して、年度方針や講演会などを行っています。

JA の存在意義を高めるための地域との関係強化に王道はありません。地域の様々な人や組織との多角的な交流から地域が JA に期待している役割を把握し、組織と事業の活性化の芽を見出していく必要性があります。

最後に、日本農業新聞があります。発行以来、今年の夏初めて1面にスポーツ記事が載りました。いつもは、農業に関する重要な事が1面に掲載されています。皆さんご存知の通り、金足農業高校の甲子園の記事です。金足農業は、テレビメディアで大きく取り上げられました。このことによって、農業高校はクローズアップされ、志願者数が増えて、農業に就労する若者が増えてくれる事ことを望みたいと思っています。今度のお正月の箱根駅伝で、例えば東京農大が優勝してくれれば、もっと良いかと願っている次第です。ご清聴ありがとうございました。

## ★ニコニコボックス

大場 篤会員 娘が結婚をしました  
永田恵照会員 誕生日を祝って頂き  
梅田喜嗣会員 〃  
原田雄二会員 〃  
井指和昭会員 結婚記念日を祝って頂き

田中健司会員 結婚記念日を祝って頂き  
井指光基会員 入会記念日を祝って頂き

## ★委員会開催報告

9月18日に2018-19年度台湾同好会総会が開催されました。前年度の事業・決算報告、今年度の交流計画について承認されました。



## ★国際ロータリー関連

10月24日は世界ポリオーデーです。

ロータリーは、1979年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて



以来、パートナー団体とともに懸命に活動を続け、全世界でポリオの発症数を99.9パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆さまからの支援が欠かせません。支援にはさまざまな方法があります。わずかな時間でも、長時間を費やしての支援でも、世界でポリオを撲滅して、子どもたちを一生ポリオから守るために、“一人ひとりにできること”を実行することが大切です。

ロータリアンはこれまで、122カ国、20億人以上の子どもたちへのポリオ予防接種を支援してきました。わずか60円ほどのワクチンで、一人の子どもを生涯、ポリオから守ることができます。

会報担当：吉田 悟会員・浅野 晋会員